

関西地区 研修講座・一般セミナーのご案内

2019年度予定および2018年度実績



2019年6月

一般社団法人 日本海運集会所
セミナーグループ

- 注
- ・セミナー会場は、特別な記載がない限り、神戸銀行倶楽部の会議室です。
 - ・各講座の定員は40名です。
 - ・講師、内容等は変更になる場合があります。

記号について

- ★ 入門・初級 → 新人および実務経験1年程度向き
- ★★ 初・中級 → 実務経験1～3年程度向き
- ★★★ 中級以上 → 実務経験3～5年程度向き

もくじ

関西地区 研修講座

NO	テーマ	レベル	2019年度開催予定日	ページ
1	英文契約書の基礎知識(1日)	★★	5月9日	5
2	新人社員研修(1日)	★	5月16日	7
3	船の技術知識あれこれ	★	6月7日 午後	8
4	定期傭船契約(連続2日間)	★★	9月5日、6日	9
5	船舶保険 入門	★	10月3日	10
6	P&I保険の基礎	★	11月5日	11
7	内航海運概論	★	1月頃	12
8	入門 会計と海運業	★	3月頃	13
	MEMO			14

関西地区 一般セミナー

1	セミナー 「外航海運業務の電子化と革新的テクノロジー」	-	6月7日 午前	15
2	セミナー「IMO環境規制への対応(仮)」	-	8月27日	16
	MEMO			17

※2019年度の受講料(会員)は、90分5千円(税別)です。
非会員価格は、90分8千円(税別)です。

【関西地区】研修講座 1 「英文契約書の基礎知識(1日)」

英文契約書のポイントを押え、演習で身につける

★★

今年度開催日	5月9日(木曜日) 9:30～16:00(9:00から受付開始)
---------------	-------------------------------------

昨年度実施状況

日時	5月31日(木曜日) 9:30～16:00(9:00から受付開始)	
場所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:22,500円(税別) ※資料代含む。	
定員	40名(JSE会員優先／先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル対象	入門・初級 新入社員および新人、中途入社	
講師	中矢 一虎 氏 国際法務株式会社 代表取締役 / 司法書士 / 行政書士 / 大阪市立大学商学部 講師	
略歴	神戸大学法学部卒業後、住友商事株式会社に入社。パリやロンドン駐在時には、主に化学品の貿易取引に携わる。今日まで、欧米・中国・アジア・アフリカ・中近東など世界80カ国以上を国際取引にて歴訪した経験を持つ。現在、中矢一虎法務事務所の代表を務め、国際契約書の相談や作成を行う司法書士及び行政書士であり、日本国内の企業契約法務や個人の相続・遺言・信託など幅広い法律業務を多数こなしている。大阪市立大学商学部講師、各種団体が主催する講演会・研修会の講師としても幅広く活躍している。	
著書	『貿易実務の基本と三国間貿易完全解説』(中央経済社)他多数	
概要	本講座は、国際取引の法的枠組みの基礎と実務上のポイントの習得を目的としています。 まず、輸出入の流れを把握し、貿易条件とインコタームズ2010や英文契約書における特殊な用語の解釈の仕方を学習します。 また、演習として、輸出の場合と輸入の場合それぞれの事例を参考にしながら、契約書の作成に取り組みます。	
内容	午前 9:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> I 契約交渉の流れ II 契約交渉の基本五条件 <ul style="list-style-type: none"> 1. 商品及び品質条件 2. 価格条件 3. 数量及び梱包条件 4. 支払条件 5. 船積条件 III 貿易条件とインコタームズ【インコタームズ2010 概要】 <ul style="list-style-type: none"> 1. 貿易条件 <ul style="list-style-type: none"> (1) 費用の範囲 (2) 危険の範囲 (3) 世界の貿易条件解釈基準 2. インコタームズ <ul style="list-style-type: none"> (1) インコタームズの誕生 (2) インコタームズ2010 (3) インコタームズ2010 の主要三規則 (4) インコタームズ2010 の実務上の注意 IV 入門演習～簡単な(スポット)輸出契約書の作成～ <ul style="list-style-type: none"> 1. 定型的(スポット)輸出契約書について 2. 売契約書の作成
昼休み 12:00～13:30		

内 容	午後 13:30～ 16:00 途中休憩有	V 英文契約書の基礎 1. 英文契約書を攻略する 2. 輸出契約書 (1) 表題と前文 (2) 目的 (3) リードタイム (4) 所有権 (5) クレーム (6) 仲裁 (7) 不可抗力 (8) 準拠法 (9) 適用言語 (10) 後文・署名欄 (参考) 英文契約書の重要ポイントをつかむ (重要な木を見る) <<英文契約書の特殊用語>> 3. 輸入契約書
		VI 入門事例研究及び演習 1. 輸出契約 (1) 事例概要 (2) 輸出契約のポイント (3) 特質 (4) 演習 2. 輸入契約 (1) 事例概要 (2) 輸入契約のポイント (3) 特質 (4) 演習 VII 演習～商品輸入契約書の作成～

【関西地区】研修講座 2 「新人社員研修(1日)」

船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ



今年度 開催日	5月16日(木曜日) 10:30~17:00(講義終了後、懇親会につき18:30まで)
--------------------	--

昨年度実施状況

日 時	5月14日(月曜日)10:30~17:00(講義終了後、懇親会につき18:30まで)	
場 所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:22,500円(税別) ※資料代、懇親会費含む。	
定 員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門・初級 新入社員および新人、中途入社社員	
概 要	<p>午前は、今日の海事産業の全体像を把握し、午後は、疑似航海のストーリーや海運の歴史を絡めながら、商船運航のしくみを学びます。</p> <p>本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。</p> <p>また、講義終了後、皆様の交流の場として懇親会をご用意しております。ぜひご参加ください。</p>	
内 容	第一部 10:30~ 12:00	<p>『海運ビジネスの基礎』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 船の種類と海運業の事業部門 (1) ドライバルカー (2) タンカー (3) 自動車船 (4) コンテナ船 2. 海運ビジネスの仕組み (1) 船主と傭船者 (2) 傭船契約と船荷証券 (3) 海運業の費用構造 3. 海運と海事クラスター (1) クラスターの構成者 (2) 各事業概要 4. 海運を取り巻く現状 (1) 環境規制 (2) スマート SHIPPING
	講 師	講師：商船三井 ドライバルク営業統括部長 星野 淳 氏
	昼休み 12:00~13:30	
	第二部 13:30~ 17:00	<p>『商船の運航・基礎編』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上貨物輸送の現状(日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元(長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務(入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理(海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策(燃費・CO2排出) ・その他、船の現状(船内生活、通信、健康管理)
講 師	講師：日本海洋科学 取締役相談役 関根 博 氏	
第三部 17:00~ 18:30	<p>『懇親会』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異業種の方とお話しできる場でもあります。積極的にご参加ください。 	

【関西地区】研修講座 3 「船の技術知識あれこれ」

船のことがよく分かる！知っていた方が得な知識



今年度 開催日	6月7日(金曜日) 13:30~17:00
--------------------	--------------------------

昨年度実施状況

日時	2018年9月21日(金曜日)13:30~17:00 ※本講座は、7月6日(金)に開催予定でしたが、西日本豪雨の影響により中止したものです。
場所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:15,000円(税別) ※資料代費含む。
定員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対象	入門・初級 若手社員、自身の知識整理・再確認したい中堅の方。
講師	元(株)商船三井 常務執行役員 横田 健二 氏
略歴	1977年東京大学工学部船舶工学科卒業。同年大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。工務部にて新造船設計、新造船監督、保船等の業務に従事。 1994年技術部設計チーム課長、1996年技術部LNG船プロジェクトチーム課長、1998年技術部副部長、2000年LNG船管理部副部長、2002年技術部副部長、2005年技術部長、2007年執行役員、2009年常務執行役員を経て、2012年MOLシブテック代表取締役社長、相談役を歴任。現在は業界団体などで講師を務める。
概要	本講座では、船の基礎知識として、船の定義、主要目や構造の説明、推進性能・燃費、さらに造船・修繕・保守にわたる事柄まで幅広く講義します。 また、充実した資料を参照しながら様々な技術用語もできるだけ解説します。海運・造船に関わって間もない若手社員やもう一度知識を整理して理解を深めたい中堅の方々を対象とした、体系的に技術知識を得るために最適な講座です。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造船海運でよく使われる単位 ・主要金属、液体、気体の比重と物性 ・船とは(船の定義、船の分類) ・船型(1.バルカー、2.タンカー・プロダクト船、3.コンテナ船、4.各船種の構造) ・主要目(1.主要寸法、2.トン数、3.船籍船級検査規則、4.主機関、5.主要補機) ・性能・燃費(1.推進性能、2.燃費) ・復原性能(GM) ・海上試運転 ・造船契約(造船契約と関係者) ・建造工程 ・船費 ・検査・修繕 ・塗装(防錆塗料、防汚塗料) ・係船設備 ・造船海運に関わる人

【関西地区】研修講座 4 「定期傭船契約(連続2日間)」

定期傭船契約の基礎を学び現場で生かす



今年度 予定	9月5日(木)、6日(金) 13:30~17:00
-------------------	------------------------------

昨年度実施状況

日時	9月6日(木)、7日(金) 13:30~17:00	
場所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代費含む。	
定員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初・中級 トラブル対応力向上のために、定期傭船契約の基本構造を学びたい方。	
講師	日本海運集会所 仲裁グループ マネージャー 一戸康佑 日本海運集会所 仲裁グループ 松下 千紗	
概要	本講座は、代表的な定期傭船書式であるNYPEシリーズの第8条に絡む諸論点(用船者の指図、用船料の支払い、Off Hire、船の堪航性等)の解説を通じて定期傭船契約の基本構造の理解を深めることをねらいとしています。 判例やケーススタディーを交えて、定期傭船契約の本質的な理解と知識の整理ができるよう、ポイントを押えて解説いたします。	
内容	9月6日 (木)	第一部 13:30~15:00 指図と補償、荷役、B/Lの署名、安全港、戦争・海賊条項
		第二部 15:10~16:40 傭船期間、傭船料の支払い、引揚げ 質疑応答 16:40~17:00
	9月7日 (金)	第三部 13:30~15:00 Off-hire、Lien
		第四部 15:10~16:40 USCOGSA、堪航性、Maintenance、免責、仲裁 質疑応答 16:40~17:00

【関西地区】研修講座 5 「船舶保険 入門」

船舶損害のリスクを補填する保険の基礎知識



今年度予定	10月3日(木曜日) 13:30~17:00(13:00から受付開始)
--------------	-------------------------------------

昨年度実施状況

日時	2018年11月9日(金曜日) 13:30~17:00(13:00から受付開始)	
場所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:15,000円(税別) ※資料代費含む。	
定員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル対象	入門・初級 新人および実務経験1年程度向き。	
講師	東京海上日動火災保険 コマーシャル損害部関西海損課 課長代理 滝 和彦 氏	
略歴	2012年入社。東京、今治、シンガポールで専ら船舶保険の損害査定業務に携わる。今年から現職。 シンガポール駐在時には、社内で船舶保険の損害査定業務に従事する一方、イギリス系海事弁護士事務所やP&Iクラブにも在席経験がある。	
概要	本講座では、船舶保険の基礎を学ぼうとする方々を対象に、各種船舶保険の内容、保険金支払いの対象となる事故および損害、事故発生時の対応・注意点等、船舶保険について押さえておくべきポイントを講義いたします。	
内容	1	船舶保険の基礎知識 船舶運航上のリスク、船舶に関する保険(船体保険、不稼働損失保険、戦争保険など)
	2	海難発生時の対応 修繕、衝突、全損、救助、共同海損

【関西地区】研修講座 6 「P&I保険の基礎」

基本的な考え方と事故対応を学ぶ



今年度 予定	11月5日(火曜日) 13:30~17:00(13:00から受付開始)
-------------------	-------------------------------------

昨年度実施状況

日 時	2018年10月5日(金曜日) 13:30~17:00(13:00から受付開始)	
場 所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:15,000円(税別) ※資料代費含む。	
定 員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門・初級 新人および実務経験1年程度向き	
講 師	1	日本船主責任相互保険組合 神戸支部 契約チーム 松原 敬一郎 氏
	2	日本船主責任相互保険組合 神戸支部 損害調査チームチームリーダー 木村 信二 氏
概 要	<p>P&I保険とはProtection & Indemnity 保険の略称で、船舶の所有・運航に伴って生ずる船主責任を対象とする保険です。</p> <p>港湾施設、養殖施設など第三者の財物に与えた損害、油濁損害、乗組員の死傷、積荷に与えた損害等、幅広い範囲の賠償責任をカバーするもので、船主・船舶運航者には欠かせません。</p> <p>前半は、P&I保険の基本を学び、後半は、財物損害と油濁損害の制度と事故例を取り上げながら解説いたします。内航船・外航船に共通する基礎的な内容となっています。</p>	
内 容	1	P&I保険の概要 ・P&I保険とは？ ・P&I保険の歴史 ・P&I保険でてん補されるリスク
	2	財物・油濁事故の対応 ・財物損害 ・油濁損害 ・事故例

【関西地区】研修講座 7 「内航海運概論」

日本の産業と国民生活を支える輸送システム



今年度予定	1月頃
-------	-----

昨年度実施状況

日 時	2019年2月8日(金曜日) 13:30~16:45(13:00から受付開始)	
場 所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:15,000円(税別) ※資料代費含む。	
定 員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル対象	入門・初級 新人および実務経験1年程度向き	
講 師	流通科学大学 商学部 教授 森 隆行 氏	
略 歴	1975年大阪市立大学商学部卒業、大阪商船三井船舶株式会社(現・株社商船三井)入社。1990年大阪支店輸出部輸出2課長。1992年広報室広報課長。1994年営業調査室課長。1996年AMT freight GmbH(出向)社長。2001年丸和運輸機関(出向)海外事業本部長。2004年株式会社商船三井営業調査室主任研究員。2006年商船三井退職、流通科学大学商学部教授。	
概 要	<p>内航海運は、国内物流の約4割を担い、鉄鋼、石油、セメントなど産業基礎資材の約8割の輸送を担っています。</p> <p>災害復興、東京五輪開催等、当面の日本の課題に取り組む上でも、また、その後日本経済が一定規模を維持していく上でも内航海運は、重要な未来のある産業です。</p> <p>本講座では、外航海運との比較により内航海運の特徴を認識した上で、克服すべき問題点を洗い出し、より競争力のある、魅力のある内航海運業となるための方策を検討いたします。</p> <p>前半は、内航海運の概要や重要性を学び、後半は、内航海運の抱える課題とその取り組みについて解説いたします。内航業界の次世代を担う若手社員や内航との関わりの強い物流業界の新人の方にお勧めです。</p>	
著 書	<p>『新訂・外航海運概論』(成山堂書店)</p> <p>『物流の視点からみたASEAN市場 東南アジアの経済発展と物流』(カナリアコミュニケーションズ)</p> <p>『神戸港昭和の記憶 仕事×ひと×街』(のじぎく文庫)</p> <p>共著『内航海運』(晃洋書房)</p> <p>『コールドチェーン』(晃洋書房)</p> <p>『神戸客船ものがたり』(神戸新聞総合出版センター) ほか</p>	
内 容	前半	<p>内航海運の現状とその役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.内航海運の役割とその重要性 2.内航海運の概要 3.内航海運と外航海運の違いー戦後の異なる発展過程 4.内航海運の市場構造(ピラミッド構造、オーナーとオペレーター) 5.オーナー業務とオペレーター業務、船舶管理会社の業務
	後半	<p>内航海運の抱える課題と課題解消への取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.内航海運の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1)船員・船舶の高齢化 (2)船員不足 (3)ピラミッド型の市場構造 (4)グループ化と船舶管理会社 (5)フィーダー輸送とモーダルシフト (6)暫定措置事業 2.内航海運の課題解消への取り組み <ol style="list-style-type: none"> (1)船員育成・確保にむけての取り組み (2)カボタージュと外国人船員 (3)船舶管理会社の活用 (4)暫定措置事業終了後の内航海運の姿 (5)内航海運の期待される新たな展開

【関西地区】研修講座 8 「入門 会計と海運業」		★
海運特有の会計基礎を学ぶ		
今年度 予定	3月頃	

昨年度実施状況

日 時	2019年3月11日(月曜日) 13:30~17:00(13:00から受付開始)	
場 所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:15,000円(税別) ※資料代費含む。	
定 員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門・初級 海運業における会計の基礎を身につけたい方。(新人、1~2年程度向き) ※業務に携わったことのない方向け。経理部の方には易しい内容です。	
講 師	前半	公認会計士 高井 大基 氏 (新日本有限責任監査法人 大阪事務所 シニアマネージャー)
	後半	公認会計士 北出 旭彦 氏 (新日本有限責任監査法人 大阪事務所 マネージャー)
概 要	本講座は、まず海運業特有の収支や取引の流れを概観した上で、それらの会計処理を具体例を使い説明いたします。次に、海外置籍を伴う船舶の取得や維持、船舶の税務等の船舶に関わる財務会計のポイントを解説いたします。 経理部門に入り経験の浅い方、営業や船舶管理部門で会計知識の必要な方などにお薦めです。	
内 容	前半	ビジネスの理解と会計上の特徴、財務諸表の開示、海運業収益
	後半	船舶にかかる論点(仕組船会社、償却、修繕、税務)

【関西地区】セミナー「外航海運業務の電子化と革新的テクノロジー」

今年度開催日 6月7日(金曜日) 10:00~11:30

2019年度新規セミナー

場 所	神戸銀行倶楽部 兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 TEL 078-331-2766
受講料	JSE会員:5,000円(税別) JSE非会員:8,000円(税別) ※資料代含む。
定 員	40名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
講 師	A.P.モラー・マースク 北アジアコーマーシャルマネージャー トレードレンズ 平田 燕奈 氏(経営学博士)
略 歴	中国東北財経大学卒業、神戸大学経営学研究科博士後期課程修了。経営学博士。 A. P. Moller-Maersk TradeLensアジアコーマーシャルマネージャー。1998年、A. P. Moller-Maersk Groupに入社後、 カスタマーサービス、営業、航路管理、マーケティング、Eコマース部門において管理職を歴任。直近10年間、NACCS業務やE-ブッキング業務など、数々の業務電子化推進プロジェクトを成功に導く。 2018年5月より、Maersk社とIBM社の協業ユニットであるTradeLensにおいて、ブロックチェーン物流プラットフォームの開発推進に従事。 2018年10月、「e-Shipping—外航海運業務の電子化」(海文堂、平田燕奈著、森隆行監修)出版。
著 書	『e-Shipping—外航海運業務の電子化』(海文堂出版) 平田燕奈(著)、森隆行(監修)
概 要	電子化、技術イノベーションがこれからの社会にとってのキーワードとなって久しく、近年、外航海運業界では電子化を目指し、革新的なテクノロジーは応用されている傾向がみられます。 本セミナーでは、海運物流分野における電子化の実態、最新テクノロジー、アジア各国の取り込みについてご紹介します。 また、実例をもとに、ブロックチェーン技術の応用についてもわかりやすく説明します。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・海運業界電子化の課題と現状 ・革新的電子化テクノロジー(IoT、AI、ブロックチェーン) ・アジア諸国での取り組み ・ブロックチェーン応用事例の紹介

【関西地区】セミナー「IMO環境規制の概要と対応(仮)」

今年度 予定	8月27日(火曜日) 13:30～17:00
-------------------	---------------------------

昨年度実施状況(東京開催)

日 時	2019年1月21日(月曜日) 14:00～15:30
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:5,000円(税別) JSE非会員:10,000円(税別) ※資料代含む
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
講 師	DNV・GL Japan 事業開発部長 三浦 佳範 氏
概 要	<p>海運業もIMO等の環境規制、官民の新エネルギーの導入や省エネ等環境技術を通して、世界が目指すエコ社会への形成へ向けた一歩を踏み出しています。</p> <p>海事関係者が自社の今後の環境対策の道筋を描くには、規制のタイムスケジュール、エネルギー産業・海事産業の市場動向、新エネルギー・新技術の開発状況やコスト等を考慮する必要があります。</p> <p>本セミナーでは、IMOが打ち出したSOx規制・GHG規制への対応の現状と今後の見通し、次世代燃料の開発の現状や今後の見通しについて、環境対応の先進地域である欧州、ノルウェーの取り組みや知見も踏まえ、解説いたします。</p>
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1.世界のエネルギー転換 2.Global Sulphur Cap 2020への対応 3.IMO GHG削減戦略への対応 4.次世代燃料の可能性

※各講座の日程や詳細については、関係各位に【JSEメール通信】にて配信しています。
毎月16日前後に、翌月に開催する全ての講座・セミナーの概要をお知らせし、
また、各講座の開催日の3週間前に申込みフォームを添えて詳細をご案内しています。
配信をご希望の方は、project@jseinc.org 宛てにメールにて以下をお送りください。

1. 会社・法人名
2. 部署名
3. 役職名
4. 氏名(ふりがな)
5. メールアドレス

(注)個人アドレスは上記1～5を、グループアドレスは1, 2及び5をご記載ください。
複数のアドレスへの配信も承ります。

(お問い合わせ先)

一般社団法人 日本海運集会所 セミナーグループ
〒112-0002 東京都文京区小石川2-22-2 和順ビル3階
TEL 03-5802-8367 E-mail project@jseinc.org
HP <http://www.jseinc.org/index.html>

The Japan Shipping Exchange, Inc.

<http://www.jseinc.org/index.html>